



玄海原子力発電所（プルサーマル運転の3号機）

福岡市議会 玄海原発めぐる住民の請願を審査

「立地県なみの安全協定を検討」 熊谷市議の質問に市が答弁



日本共産党
福岡市議団

福岡市議会・第一委員会は10月31日、玄海原発などをめぐる請願3件を審査。委員13人のうち3人が質問。日本共産党は熊谷あつ子市議が質疑をおこない、請願の採択を主張。合意とならず、継続審査になりました。

熊谷市議が、市と九電がむすぶ原子力安全協定について、事故後の情報伝達体制だけでなく、安全確保のための立ち入り調査や計画変更の事前了解など

を柱とする佐賀県の協定を紹介。もっとふみこんだ協定にすべきだとただと、「立地県の協定をベースに検討している」と答弁をしました。

「再稼働は国が判断」とくり返す市

2・3号機の再稼働をめぐる「やらせメール」事件の認識をたずねると市は「言語道断」「腹立たしい」と答えながら、再稼働をやめるよう九電にいうべきだと迫ると「国が判断すべき」と腰くだだけ。

プルサーマルの3号機で事故がおきれば福岡市も深刻な被害になることをつきつけ廃炉を求めると、市側は「市に判断能力ない」と述べ、国や九電にモノを言わない実態がうきぼりになりました。

1号機の老朽化 専門家の警告無視



「1号機は老朽化し炉がもろくなっており、非常時に冷却水をいれたら割れてしまうおそれがある」との専門家の警告を熊谷市議が紹介。熊谷市議は廃炉を求めるとともに、詳細な検査を提案しましたが、市は「監督官庁がやるべき」と無責任な答弁をしました。

フクシマ以上の事故想定をせよ

これまで全国の自治体では、小さい原発事故を想定した防災計画しかなく、福島では大混乱に…。熊谷市議は、福岡市は防災や避難計画はフクシマ以上の想定をするよう求めましたが、市は規模を明言しませんでした。

おそまつな事故認識

熊谷市議が「福島原発事故が起きた以上、『チェルノブイリのような事故は日本では起きない』は間違いと認めるか」とたずねると、市は、チェルノブイリの放射能の放出量の単位を間違え、1兆倍多くした認識のまま、「チェルノブイリの事故はケタ違いに大きい」「日本では起こらない」と答弁しました。

請願のおもな内容

- 玄海原発の1号機を廃炉にし、2・3号機の再稼働やめよ
- 玄海・川内原発から100km圏内の全県の協議会、避難訓練の実施
- 福岡市民への説明会開催…を国・九電などに求める